

—報道関係各位—

地方独立行政法人天王寺動物園

園長 向井 猛

担当：飼育展示課

☎06-6771-2151

天王寺動物園のピューマの死亡について

令和5年6月7日（水曜日）に天王寺動物園でメスのピューマ（愛称：マリー）が亡くなりました。

マリーは、平成19年5月25日に静岡市立日本平動物園で生まれ、愛媛県立とべ動物園へ繁殖のために移動した後、令和3年9月6日に天王寺動物園へ移動してきました。令和4年12月より体調不良が見られ始め、血液検査や投薬、補液等の治療を行っていました。体調や食欲にムラがあり、マリーの状態に合わせて展示を見合わせ、室内で過ごしてもらったりしていました。令和5年6月5日には起立することも難しく、麻酔下で処置を行いました。本日令和5年6月7日の開園前に飼育員がマリーの様子を確認したところ横たわっていたため、獣医師が確認したところ、9時10分に死亡を確認しました。また、マリーの死亡により、当園で飼育しているピューマはいなくなりました。

〔死亡したマリーのプロフィール〕

愛称：マリー

生年月日：平成19年（2007年）5月25日 静岡市立日本平動物園（静岡県）生まれ

来園：令和3年（2021年）9月6日 来園

福山動物園で飼育されている個体と並び、国内最高齢（16歳）



令和4年（2022年）7月8日撮影



令和3年（2021年）10月9日撮影

〔参考〕ピューマについて

ネコ目ネコ科 学名：Puma concolor 英名：Puma

ピューマはカナダ南部から南アメリカの森林に生息する。

寒冷地から砂漠までさまざまな環境に生息し、広大な行動圏を持ち、一晩で数十 km も移動する。

視覚がもっとも発達し、聴覚もきわめて鋭い。

国内での飼育数は8園館14頭（オス6・メス8）（令和4年12月31日現在）

体長（頭胴長）：約1～1.8m

体重約：30～100kg